

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和5年度】

(評価日 令和6年6月18日)

1 施設の概要

施設名	岩手県民の森
所在地 電話・FAX HP・電子メール	〔管理事務所；森林ふれあい学習館フォレストI (アイ)〕 〒028-7302 八幡平市松尾寄木第1地割515番5 電話 0195-78-2092 FAX 0195-71-1778 HP http://www.kenminnomori.com/ 電子メール forest@kenminnomori.com
設置根拠	森林公園条例(昭和55年3月25日条例第26号)
設置目的	(設置：昭和44年4月1日) 県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図る。
施設概要	公園面積 約360ha 主な施設 森林ふれあい学習館(延べ1302.79㎡)、木材工芸センター(241.77㎡)、 キャンプ場炊事施設、野鳥昆虫観察舎、機械保管庫ほか
施設所管課	岩手県農林水産部森林保全課 (電話019-629-5797(直通)、メールアドレスAF0012@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	公益社団法人岩手県緑化推進委員会
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)
連絡先	〒020-0021 盛岡市中央通三丁目15番17号 電話 019-625-0310 FAX 019-625-0356

3 指定管理者が行う業務等

業務内容 (主なもの)	1 施設及び設備の維持管理に関する業務 2 施設の運営、利用に関する業務		
職員配置、 管理体制	8名(常勤換算5名) (R5年4月1日現在) (内訳) 県緑推3名、県民の森事務局5名 他、県民の森緑地管理班3名(4月15日～ 11月15日)	組織図	別添のとおり
利用料金	森林ふれあい学習館多目的ホール(1時間までごと2,050円)、同ミーティングルーム(1時間までごと1,080円)、キャンプ場(テント1張1日までごと650円)、物品販売等(1人1日までごと540円)、業として行う写真撮影(1日までごと1台ごと220円)、展示会等(1日までごと4,840円)		
開館時間	9～16時	休館日	毎週火曜日、年末年始(12/29～1/3)

4 施設の利用状況（利用者数）

（単位：人）

区 分	前期間 平 均	指定管理期間					備 考
		R5 年度				期間平均	
第1 四半期	14,300	26,598				26,598	
第2 四半期	18,803	21,607				21,607	
第3 四半期	61,929	48,987				48,987	
第4 四半期	13,466	20,802				20,802	
年間計（実績）	108,498	117,994				117,994	
年間計（目標）		80,600				80,600	

5 収支の状況

（単位：千円）

区 分	前期間 平 均	指定管理期間					備 考
		R5 年度				期間平均	
収 入	県委託料	25,907	26,389			26,389	単 位 未 満 四 捨 入 の た め、 小 内 訳 の 計 が 一 致 し な い 場 合 あ る。
	利用料金収入	197	129			129	
	自主事業収入	4,224	5,095			5,095	
	管理事業収入	97	5			5	
	その他	67	38			38	
	小計	30,493	31,656			31,656	
支 出	人件費	14,548	13,820			13,820	
	維持管理費ほか	11,721	12,742			12,742	
	自主事業費	3,242	4,669			4,669	
	小計	29,510	31,231			31,231	
収支差額	983	425			425		

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	アンケートボックスを設置し、施設の満足度、展示物の評価、改善点等を記入していただいたほか、行事終了後には行事参加者との意見交換を行うとともにアンケートで意見等をいただいた。	実施 主体	公益社団法人岩手県緑化推進委員会
------	--	----------	------------------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情・要望：18 件 来館者アンケート：29 件、イベント参加者アンケート：78 件		
主な苦情、要望等	対応状況		
・寒いのも大変だけど暑い方が熱中症など危険なので、館内の温度を涼しくしてほしい。	・気温が高い時は、多目的ホールのエアコンを稼働し休憩所として開放させていただきますので、御利用下さい。		
・駐車場が狭くてラインが無いので停めづらい。トイレが寒かった。	・県へ報告させていただきます。		
・木の玉を転がす遊具が散らかるので何か工夫をお願いしたいです。	・木育コーナーは幅広い年齢層が木に親しんでもらうために設置されております。 柵を高くすることで、小さなお子様が遊びづらくなるのが懸念されます。これ以上の工夫は難しいことが現状ですのでご理解とご協力をお願い申し上げます。		

1 個ずつ優しく転がして頂ければ、散らかることも少ないかと思しますので、ぜひ試してみてくださいませと幸いです。

その他利用者からの積極的な評価等

【来館者アンケートからの声】

- ・入ってすぐ感じられる木の香りと、館内全てが木を感じられるのが良い。
- ・木の遊具が増えていてうれしかった。
- ・木のプールで遊んでいました。知育おもちゃもとても楽しかったです。
- ・創作体験は熱中でできてとても面白かったです。子供向けの遊びも充実しており、楽しませてもらいました。
- ・無料とは思えないクオリティで大満足でした。
- ・夏休みの自由工作ができました。
- ・近くにもこんないい場所があったらいいのに！と思いつつもここに遊びに来ます。
- ・とても有意義な時間を孫と過ごす事が出来ました。とても喜んでます。ありがとうございました。スタッフの方々も親切でした。
- ・大きな施設ですがとてもキレイにされていてすごいと思いました。また来たいです。
- ・家族で楽しめました。ありがとうございました。

【行事参加者からの声】

- ・楽しく参加させて頂きました。色々な種類のサクラがあり、長い期間見ることができ良かったです。(春の森さんぽ)
- ・大自然をガイド付きで散策できて満足しました。(春の森さんぽ)
- ・いつも大地獄谷が秋の紅葉シーズンであったので今年新緑の季節の催しとなったので紅葉とはまた違った緑の濃い、木立の間から木漏れ日。心も体もリフレッシュできて大変良かった！(大地獄谷)
- ・担当のガイドさんがとても良かったです。体を動かすのがせいっぱいなので、花の名前は覚えられなくて申し訳ありません。余裕が出来たらメモなど用意したいと思います。今日はありがとうございました。とても楽しかったです。(新緑の森と七滝さんぽ)
- ・これからも続けて下さい。(大地獄谷)
- ・イヤホンガイドがあるので、解説が聞きやすかった。この時期の大地獄谷は初めてだったので、いろいろな草花があって楽しめました。また別の時期にも来てみたいです。ありがとうございました。(大地獄谷)
- ・珍しい山野草が見れて満足！説明もとてもわかりやすくて満足！(大地獄谷)
- ・七滝の魅力を再認識できました。楽しいガイドさんのおかげだと思います。今後ともよろしく願いいたします。(七滝氷瀑スノーシューツアー)
- ・丁寧なガイドで最中楽しめました。良い取組だと思います。(七滝氷瀑スノーシューツアー)
- ・とても楽しく、満足のいくツアーでした。ありがとうございました。(七滝氷瀑スノーシューツアー)
- ・いつもありがとうございます。新しいことを教えて頂き、楽しく参加させて頂いています。森林の事、木々の事、興味深い内容で唯一無二のイベントだと思います。(早春の七滝・巨木スノーシューツアー)

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績 (指定管理者の自己評価)	評価指標
運營業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料金が県の承認を受けたものとなっている。 ・ 施設使用許可等申請の受付・処理体制が適正である。 ・ 施設利用等料金の徴収、減免、還付等が適正に行われている。 ・ 利用者に対し、正当な理由がないのに施設の利用を拒むなど、不当な差別的取扱いをしていない (公共性、公平 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料金については、県の承認を受けた項目、内容 (岩手県森林公園条例で定められた金額) で金額を徴収した。 ・ 施設使用許可は、申請の受付から許可まで、県に提出した管理計画書のとおり適正に行った。 ・ 施設利用等料金の徴収、減免は適正に行った。なお、学校行事、子供会行事で利用する場合は利用料金を免除している。 ・ 利用者に対し、正当な理由がないのに施設の利用を拒むなど、不当な差別的取扱いはしてい 	A

	性の確保)	ない。	
施設の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績程度の利用者数を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の利用者数は、木育コーナー利用の家族連れや七滝氷瀑観賞の利用客などが多く前年比111.2%と増加傾向となっており、順調に新型コロナウイルス感染拡大以前の水準に近づいてきている。 	B
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に行事を実施し、参加者数を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の行事回数は前年よりやや抑えたかわりに、計画に対しての参加者数は9割確保することができた。 参加者の少ない行事の内容を再考するなどし、今後も継続して実施していきたい。 	B
施設及び設備等の維持管理状況	<ul style="list-style-type: none"> 基本協定に定める維持管理に係る業務が適正に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理は作業計画どおりに適正に維持管理したほか、特に園内の森林環境整備管理は、利用者に快適性をもってもらえるよう計画以上に作業を行った。また、山火事の危険性が高い時期は園内放送等で山火事注意の呼びかけを強化した。 施設の清掃は毎日行い、特にトイレは利用者には不快感を与えないよう清掃を徹底した。 令和5年度の冬季期間はチップボイラーの運転が出来なかったが、職員が除雪と石油暖房の管理を行い、来館者の利便性をなるべく損なわないよう努めた。 今期キャンプ場は支障木伐採の関係でクローズだったが今後も利用について状況を確認しながら県と協議していく。 法定保守点検及び専門的知識・技術を必要とする業務は委託を行い適正に維持管理できた。 軽微な修繕は可能な範囲で行い、利用者の利便性確保に努めた。 備品関係は基本協定書に基づき適切に管理した。 	A
記録等の整理・保管	<ul style="list-style-type: none"> 業務日誌、点検記録、整備・修繕等の履歴など各種管理記録等、帳票書類が整理、保管されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作成した帳票書類、点検記録、整備・修繕等の関係書類は項目ごとに整理し、保管している。 業務日誌は作成様式に従って、毎日、学習館、木材工芸センター、園内作業に分けて業務の実施内容を記録、保管している。 個人情報については、キャビネットに保管し施錠管理している。 	A

<p>自主事業、提案内容の実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業、提案内容の管理運営、事業等が計画的に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフミーティングや県民の森管理運営検討会、県民の森運営連絡会議で、事業の進捗、施設管理運営状況、課題と対応策について確認しながら管理運営を行った。 行事等においては年間を通し事故もなく概ね計画通りの運営、開催することができた。(行事参加者および木工教室参加者にかかる傷害保険、及び賠償責任保険には全て加入している)木工教室は原則月1回の開催とし、自主行事は年間12回行った。 また、自衛消防訓練(年2回5月、11月)、接遇研修・コンプライアンス研修(4月)も行き、管理運営上の意識向上を心掛けた。 5月開催のさくらまつりや、10月開催の紅葉まつりは、観光協会や近隣宿泊施設等と連携し開催した。 近隣宿泊施設等の宿泊者に、県民の森の園内散策や七滝ハイキング等、園内を活用していただいている。 緑化推進委員会の企画行事として7月28日に「第54回岩手県緑の少年団大会」を開催した。県内の緑の少年団と秋田県及び福島県の緑の少年団も含め14団143名の団員のほか、育成会や関係者を含め314名が参加し、交流会では第73回全国植樹祭の開催を記念した植樹会、森林環境学習、木工工作等を行った。 また、8月26日には森林ボランティアによる全国植樹祭開催記念植樹会を開催。一般参加者・緑の少年団・林業関係者等127名が参加し、アジサイ2種300本を植樹した。 関係各機関への情報提供ツール(テレビ、ラジオ、新聞、広報誌のほかホームページやXの更新)により、自主事業行事募集や施設利用の宣伝に力を入れた。 	<p>A</p>
<p>(施設所管課評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 成果のあった点： 計画に基づき適切に施設の管理・運営を行った。 施設利用者数は、昨年度比で111.20%となり、回復傾向となっている。 従来のテレビ、ラジオ、新聞、広報誌、ホームページに加えXでの情報発信を積極的に行った結果、フォロワー数は前年比493件増となった。 改善を要する点： 特になし 		<p>A</p>

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績(指定管理者の自己評価)	評価指標
<p>職員の配置体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> 知識、経験を有する人員が適切に配置されている。 職員が仕事内容を十分に把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容を熟知している職員を配置するとともに、関係各所の協力も得ながら、管理運営が円滑に行われた。事務所内内勤体制とHP更新等広報面の強化、及び木工センター利用者に対する対応強化を行った。 	<p>A</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑化推進委員会本部が管理事務所と連絡を密にし、行事等で業務多忙の時は本部から職員を派遣した。 ・ 有資格者として、防火管理者（甲種）を配置している。 ・ なお、開催行事の内容によっては専門的な知識を要するため、スタッフの研修も兼ね外部講師を招き対応した。 ・ 職員は自主的に研修会に参加するなど自己啓発につとめており、その知識や情報が日常業務において十分に発揮されている。 	
苦情、要望対応体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情・要望等の受付・処理体制が整備されている。 ・ 苦情・要望等への対応が適切である。 ・ 職員間の情報共有が適切に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートボックスや行事アンケートを実施している。 ・ アンケートボックスや行事アンケート又は口頭で受付けた苦情・要望等については、速やかに上司に報告、スタッフミーティングで共有し対応した。 ・ 重要な案件は本部に報告し管理運営検討会で改善検討した。盛岡広域振興局には毎月の連絡会議で報告し、対応を協議・検討した。 	A
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	<p>次について適切に行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故防止の対策 ・ 緊急事態発生時の対処マニュアル等の整備 ・ 非常訓練等の実施 ・ 事故発生時の対応、報告 ・ 再発防止のための措置等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時対策・防犯・防災マニュアルに基づき、事故者の保護、応急手当、救急連絡等について、職員全員が対応できるよう確認を行っている。 ・ 5月25日及び11月15日に、防火訓練、通報訓練、避難訓練、防火教育を職員全員で行い、危機管理意識を高めた。 ・ 6月19日には林業労働安全研修会を開催し、災害対策、救急処置等について研修した ・ 大きな事故等の発生はなかったが、事故防止のために見回りを徹底し危険な箇所にはトラロープを張るなど安全を確保した。 	A
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令遵守への取組みがなされている。 ・ 公の施設としての公共性、公平性が確保されている。 ・ 個人情報が適正に管理されている。 ・ 個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じている。 ・ 県の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働基準法等法令、及び県森林公園条例、県暴力団排除条例等を確認し遵守した。 ・ 偏った判断や不正な取引等を行わず、公の施設としての公共性、公平性を確保している。 ・ 4月24日に「個人情報管理について」研修を行い、個人情報の目的外使用、第三者への提供禁止、パソコンデータ等の外部への持ち出し禁止、メール、ファクスの誤送信の注意喚起、書類の施錠保管、廃棄に当たってのシュレッダー処理について注意喚起を行った。 ・ 県の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。 	A
県、関係機関等との連携体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県や関係機関との意思疎通が十分に図られている。 ・ 緊急時の連絡体制が整備されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の連絡会議において、管理状況と課題について報告を行い、情報共有を図った。早急な対応を要する事項等については県に報告し、指示を仰いだ。 ・ 非常時連絡系統図を基に、緊急時には円滑な連絡を取れるよう確認した。また、自衛消防訓練の際には地元消防署への通報訓練もあわせて行った。 	A

<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果のあった点： 職務内容を十分理解した職員を適切に配置するとともに関係機関と連携し、業務を円滑に行った。 緊急時に備えた訓練を適切に実施し、利用者の安全確保に努めた。 ・ 改善を要する点： 特になし 	A
--	---

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運營業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の接客態度が良好である。 ・ 各種事業等が適切に実施されている。 ・ 施設の管理・運営に必要な研修等が実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は相手の目線に立った接客を徹底した。4月24日に接遇・クレーム対応についても研修を行い、「来場者にまた来たいと思ってもらえるよう、親切・丁寧な心温まるサービスの提供」を心掛けることを再確認した。結果、アンケートでのほか、直接利用者から褒められる機会もあった。 ・ 年間計画に基づき、事故なく各事業を実施した。木工教室や自主行事のほか、春のさくらまつり、秋の紅葉まつりを地元関係機関と連携して開催した。 ・ 6月19日に、県民の森職員と林木育種場職員合同で、衛生管理者・安全管理指導専門家、林業技士・チェーンソー指導員、安全衛生指導員の山内達雄氏の指導の下、林業労働安全研修の講義およびチェーンソー・下刈り機使用に係る実技指導を受けた。 	A
利用者サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者ニーズに応じた施設運営状況（利用日・利用時間等）である。 ・ 積極的・効果的な広報活動を行っている。 ・ PRに効果的なホームページが作成・運営されている。 ・ 施設利用等の予約がしやすい。 ・ 利用者サービスの維持・向上に向けた取組みを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休館日は火曜日とし、週末の家族連れの利用や学校の体験活動等に利用しやすい体制にしている。 ・ チラシ等は、継続的に各市町村、マスコミ各社や関係機関に配布、掲載依頼を行ったほか、近隣施設等に直接職員が説明し広報活動を行った。 ・ 近隣宿泊施設や観光協会のイベントと連携し、効果的な誘客を行った。（温泉利用とセットにした行事、さくらまつり・紅葉まつりの連携実施等） ・ ホームページやXの積極的な更新（ホームページ年間150回、X年間863回）を行い、園内や施設情報の発信によるPRを図った。特にさくら・紅葉の時期には細やかな更新で開花・紅葉状況の情報を提供した。 ・ 令和元年12月から開始したXによる情報発信は、園内情報など毎月平均70件程度の更新を行っており、特にサクラの時期などは、月100件以上の更新を行っている。園内の様子が随時発信されることから、現在ではフォロワー数も1,823（前年比493件増）になっている。 ・ 予約受け付けは電話、窓口、メールで随時受 	A

		け入れており、必要事項の説明と疑問への回答を行いスムーズな予約を実施した。近隣宿泊施設や観光協会等近隣からの受入依頼も随時受け、利便性を図った。	
利用者アンケート等	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等を積極的にいき、利用者の意見等の把握に努めている。 アンケート結果等に対し適切に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートボックスを複数設置し利用者に意見・感想を求めたほか、行事の際はアンケートを記入していただいた。また、来館者アンケートを記入していただき、利用者要望に対しては、回答を管内の掲示板に掲示し対応した。内容はスタッフミーティング、管理運営検討会で改善検討したほか、毎月の連絡会議で報告し、助言を受けながら管理運営に活かした。 なお、アンケート以外にも可能な範囲で利用者に声をかけ、意見等の把握に努めた。 	A
(施設所管課評価)			A
<ul style="list-style-type: none"> 成果のあった点： 各種事業を適切に実施した。施設の管理運営に必要な研修を実施し、利用者への適切な対応に努めた。各種メディア等を活用し、特にホームページ及びXを頻繁に更新して、積極的に広報活動を行い誘客に努めた。 改善を要する点： 特になし 			A

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	<ul style="list-style-type: none"> 応募段階の収支計画と乖離していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料については管理運営検討会及び運営連絡会議で都度報告・協議しながら執行し、適正な支出管理を実行できた。 物価や光熱水料費の高騰による支出面の影響はあるが、指定管理料を追加頂いたこと、また観光客数の復調や積極的な行事实施により目標を上回る自主事業の売り上げもあり、毎月の収支を逐次確認し適正な収支を確保できた。 	A
指定管理者の経営状況	<ul style="list-style-type: none"> 財務状況が著しく悪化していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、当委員会の財務状況に運営上の問題は生じていない。平成25年1月4日から公益社団法人に移行し、緑の募金の運営を中心に公益目的の事業に取り組んでいる。 	A
(施設所管課評価)			A
<ul style="list-style-type: none"> 成果のあった点： 概ね計画通りに実行できた。 改善を要する点： 特になし 			A

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。

B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。

C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。

D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項

- ・ 新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行したこと、また令和4年12月より導入された木育コーナーを利用する家族連れが増加傾向にある中、さらなる施設利用促進に向け、各市町村、地元観光協会、マスコミ各社等への行事チラシの情報提供と広報掲載依頼を継続して行ったほか、近隣施設等には直接職員が説明を行った。また、ホームページやXによる情報提供はこまめに更新し、季節ごとの園内情報、特にも桜の開花時期・紅葉時期の細やかな情報を提供した。学習館内の創作コーナーの内容を見直し、何度訪れても楽しめる体験ができるよう工夫を続けている。
- ・ 近隣宿泊施設や観光協会等と連携し、観光客の県民の森利用について随時受け入れを行った。
- ・ 近隣の小中学校等を対象とした森林環境学習での県民の森活用を案内し、令和5年度は5件の実績だった。参加児童、引率者ともに全員に森林体験を通して森に親んでもらえるため、今後も継続して取り組む。
- ・ みんなの広場のサクラや全国植樹祭の記念で植樹したアジサイ並木等にも適宜手入れを行い、園内の景観維持に努めた。
- ・ 自主事業で実施している園内散策ツアーや冬の七滝氷瀑ツアーが好評なことから、随時受入できるプライベートガイドを受け、令和5年度は、計11回実施することができた。
- ・ 緑の少年団大会や県民ボランティアの日事業など、当委員会の本部事業において県民の森園内を活用し、参加者が森林・自然に触れ合う機会や県民の森に興味を持ってもらう機会を提供することができた。
- ・ 関係機関の応援協力体制もあり、職員数は少ないながらも円滑な業務運営を行うことができた。引続き細やかなサービスを提供できるよう体制強化に努める。

② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項

【苦慮している事項】

- ・ 施設設備や備品の老朽化により、年々修繕箇所は増加しており、指定管理料での対応が難しくなっている。先に提出している修繕箇所リストに基づき、修繕等進められているものの、高額な費用を要するものも多く時間がかかる傾向にある。チップボイラーも完成したが、他の施設のボイラーと同じように運転できる状況までは課題が多く、石油燃料も高騰傾向にあることから、冬季の利用者の利便性確保に苦慮している。また、職員に対し十分な給与待遇を確保しづらく、予算配分に苦慮している。

【改善・工夫事項】

- ・ 学習館の利用促進に向け、Xやテレビ・新聞による情報発信に力を入れた結果、多くの方に利用していただいた。今後もより一層利用者のニーズに沿った対応ができるよう、県と協議検討を継続していきたい。
- ・ 木育コーナーの導入により、低年齢の子どもの家族連れが増加し利用者の層が変化していることから、必要とされるサービスについて検討したほか、これまで県民の森を利用する機会が無かった学校等に利用して頂くため、森林体験学習の案内を行った。
- ・ リピーターに飽きられない行事企画等が必要とされることから、現体制で可能な範囲で行事内容を検討し、関係機関等との連携を行いより魅力的な行事の開催に努めた。ノースジャパン素流協による「げんき森林モリフェスタ」開催、商工会女性部によるクラフトイベント「もいり市」開催など、イベント会場として県民の森を利用して頂くことで、これまで県民の森を利用する機会が無かった方々へのPRにもなった。

【今後の取り組み事項】

- ・ 引き続き利用者を第一に考えた園内整備や、施設利用促進に向け積極的に広報に力を入れる。特にも木育コーナーや七滝、サクラなど、注目されつつある箇所を上手く活用し、県民に親んでもらう環境を提供できるよう努める。
- ・ キャンプ場の今後の利用などを含め、現在の各施設の状況を確認し、県と協議しながら管理運営を行う。

③ 県に対する要望、意見等

- ・ 学習館、木材工芸センター、キャンプ場等付施設を含め、森林公園としての県民の森全体の将来像について、中・長期的な計画を一体となって検討する必要があると思われる。第 73 回全国植樹祭開催を契機として、県民の森の森林整備及び施設整備が計画的に確実に実施されるようお願いしたい。
- ・ 先に提出している県民の森施設及び備品等で修繕・補修が必要なもののリストを中心に、計画的な修繕、更新等についてご配慮頂きたい。
- ・ 学習館の展示について、若年層が興味を持てるような最新のスマート林業に関する展示物を増やすなど、展示物について検討をお願いしたい。また、定期的なコンテンツの見直し、リニューアルを行い、その時々最新の情報を提供できるようをお願いしたい。
- ・ 盛岡広域振興局経営企画部の「盛岡広域エリア SDGS 探求ノート」や「盛岡広域エリア SDGS 教育旅行プログラム」等において、県民の森に係る情報が発信されるようお願いしたい。
- ・ 七滝の氷瀑が SNS 等の情報拡散により知名度が上がり、冬季の来場者がここ数年増加し、駐車場確保のための除雪に苦慮している。除雪の対応に必要な予算措置についてご配慮をお願いしたい。
- ・ 物価高騰、施設の老朽化、人件費ほかの高騰等の社会情勢から、全体の指定管理料の配分について状況に応じた適正な予算確保をお願いしたい。チップボイラー運転に係る保守点検料は従来の点検料の 5 倍以上の額で示されたこと、電気料金ほかの補助金終了による値上げが決定していることなど、指定管理契約当初では予想できていない事項が多く苦慮している。
- ・ 今後も突発的な施設破損や管理・運営上支障となる案件の発生は予想されることから、再度、県民の森施設が閉鎖となる等不測の事態が起きた場合でも、これまで通り迅速な連携を図りながら適切な指定管理事業が推進されるようお願いしたい。

(2) 県による評価等

① 指定管理者の運営状況について

- ・ 計画に基づき適切に管理・運営を行うとともに、サービスの質や安全性の向上に努めた。
- ・ 季節ごとに県民の森の環境を活用した魅力あるイベントを企画し情報発信を行った。施設利用者数は、昨年度比で 111.20%となり、回復傾向となっている。
- ・ ホームページや X 等での即時的で積極的な広報活動を行うことにより誘客に努めた。また、地域の団体等と連携し、施設の利用促進を図った。
- ・ 突発的な施設破損など、管理・運営上支障となる案件が発生したが、利用者の安全、利便性に配慮し、臨機応変に対応した。

② 県の対応状況について（自己評価）

- ・ 指定管理者が月 1 回開催する運営連絡会議に出席し、管理・運営状況の把握、情報共有に努めた。また、突発的な事案については、指定管理者から報告・相談があった都度対応した。
- ・ 施設・設備の修繕等について、利用者等の安全性及び施設の快適性を考慮し、優先度の高いものから実施している。しかし、予算の都合により全てには対応できていない。

③ 次期指定管理者選定時における検討課題等

- ・ 経年劣化により修繕が必要な施設・設備が多数あり、計画的な修繕が必要となっている。

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認
（再評価年月日 年 月 日）